令和５年度当初予算案の概要

資料１

**【1】　編　成　方　針**

府財政は、景気の緩やかな持ち直しを背景に、府税収入が堅調に推移するものの、義務的に負担する社会保障関係経費が増大し続けるなど、今後も多額の収支不足が生じる見込みです。また、海外経済や原材料価格等の動向が景気に及ぼす影響が懸念されるなど、依然として予断を許さない状況です。

このため、今回の予算編成においては、引き続き財政規律を堅持しつつ、「府政運営の基本方針2023」を踏まえ、コロナや物価高騰対策を着実に進めるとともに、万博のインパクトを最大限に活かし、大阪の成長・飛躍に向けた施策に限られた財源を重点配分しました。

**【2】　予　算　規　模**

単位：億円、％

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | R４当初 | R５当初 | 増減額 | 前年度比 |
| 一般会計 | 37,798 | 36,421 | ▲ 1,377 | 96.4 |
| 特別会計 | 29,087 | 30,824 | 1,737 | 106.0 |
| 計 | 66,885 | 67,245 | 360 | 100.5 |

 (各表においては、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。)

○全体の特徴

|  |
| --- |
| * 府税収入は景気の緩やかな持ち直しを背景に実質税収ベースで増加（P7）
* 社会保障関係経費は増加するものの、人件費や一般施策経費は減少（P2、4、5）
* その結果、収支均衡のための財政調整基金の取崩額は、前年度から減少（P9）
* 過去の借入れにより積立不足が生じていた減債基金は５年度末に復元が完了する見込み（P6）
 |

|  |
| --- |
| （一般会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費の減（▲１，４８８億円）や中小企業向け制度融資に係る預託金の減（▲１９２億円）・支出が義務付けられている社会保障関係経費の自然増などによる増（＋２６３億円） |
| （特別会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・府債の元金償還等の増加などによる公債管理特別会計、大阪府営住宅事業特別会計の予算規模の増（＋６９４億円）・地方消費税の増収による地方消費税清算特別会計の予算規模の増（＋５５９億円） |

|  |
| --- |
| ○一般歳出ベース：２兆９，５７３億円、前年度当初比 ９５．２％、１，４８８億円の減。（公債費、税関連歳出、基金への積立金を除く歳出合計） |

○義務的支出：１兆９，３２７億円、前年度当初比 １００．９％、１６３億円の増。

（人件費、公債費、税関連歳出、社会保障関係経費（義務的経費）の合計）

・一般会計当初予算の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７ | H２８ | H２９ | H３０ | R１ | R２ | R３ | R４ | R5当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 歳出総額 （調整前）一般歳出 | 28,361（32,886）22,249 | 28,215（32,772）22,062 | 26,393（30,866）19,803 | 25,54319,513 | 25,98320,098 | 26,36819,841 | 35,08628,240 | 37,79831,060 | 38,42230,919 | 36,42129,573 |

＊H29年度以前の歳出総額は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

**【3】　一般会計の内訳**

**１　歳　出**

|  |
| --- |
| ○人　件　費：６,８０９億円（前年度当初比 ９７．１％、▲２０５億円）給与改定の実施による増加があるものの、定年年齢の段階的引上げによる退職手当の減少などにより、２０５億円の減。 |
| 令和5年度 | 対前年度比 |
| ・条例定数（一般会計） | 知事部局教育庁（小中高等学校教職員等）公安委員会（警察職員）その他 | 7,25043,87923,292194 | 人人人人 | 0▲ 20800 | 人人人人 |
| 　計 | 74,615 | 人 | ▲ 208 | 人 |

・人件費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 人件費給料等退職手当 | 8,2357,480755 | 8,2407,514726 | 6,7936,285508 | 6,7266,222504 | 6,7366,269467 | 6,6716,231440 | 6,6006,186415 | 7,0146,568446 | 6,8856,446439 | 6,8096,625184 |

|  |
| --- |
| ＜参考１＞令和４年度の主な給与改定について１　給料表の改定（０．３３％）　　　　　　　　【実施時期：令和４年４月１日】　２　期末手当を０．１月分引上げ　　　　　　　　【実施時期：令和４年６月期・１２月期】　 |

|  |
| --- |
| ○公債費：３，１７６億円（前年度当初比 ９５．９％、▲１３６億円）令和４年度府債発行分の金利の上昇により利子負担が増加するものの、最終償還を迎える府債の元金償還の減少などにより、１３６億円の減。 |

・公債費、府債残高の推移（一般会計）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 公債費*(参考)府債残高* | 3,266*53,797* | 3,141*53,691* | 3,128*53,661* | 3,159*53,626* | 3,260*53,575* | 3,237*54,042* | 3,320*55,546* | 3,312*54,368* | 3,362*54,290* | 3,176*53,558* |

＊府債残高は、臨時財政対策債等を含む数値。府債残高については、８ページ参照。

|  |  |
| --- | --- |
| ○建設事業費： | １，７８９億円（前年度当初比 １０６．５％、＋１０９億円）大阪の成長を実現する新たなインフラ整備など、府にとって必要性・緊急性が高い事業について、計画的に整備を推進。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ・補助事業費： | ９１６億円（前年度当初比 １１０．７％、＋８９億円）安威川ダム建設の事業進捗による減少があるものの、モノレール道整備や府立支援学校整備にかかる国庫補助事業の増加などにより８９億円の増。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ・単独事業費： | ８７２億円（前年度当初比 １０２．４％、＋２０億円）北大阪急行線の延伸整備補助が終了するものの、大阪公立大学新キャンパス整備関連事業の進捗による増加などにより、２０億円の増。 |

・建設事業費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 建設事業費補　　助うち国直単　　独 | 1,56177675785 | 1,617851108766 | 1,51385558658 | 1,5９290273690 | 1,51988684634 | 1,469971106497 | 1,567996112571 | 1,68082883852 | 1,67792691751 | 1,78991６7387２ |

|  |  |
| --- | --- |
| ○一般施策経費： | ２兆４５０億円（前年度当初比 ９３．２％、▲１，５０４億円）支出が義務付けられている社会保障関係経費の増加があるものの、大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費の減少などにより、１，５０４億円の減。 |

・一般施策経費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般施策経費うち貸付金うち補助金等 | 10,9653,3346,044 | 10,6473,0496,108 | 10,3372,6616,144 | 10,0462,4835,770 | 10,1562,2786,039 | 21,6978,73010,976 | 30,0817,72918,076 | 21,9547,68711,351 | 22,4517,08511,417 | 20,4507,3619,946 |

＊社会保障関係経費の状況については、５ページ参照。

|  |
| --- |
| ≪主なもの≫　　　　　　　　　　　　　　R５当初 |
| ・中小企業向け制度融資預託金・新型コロナウイルス感染症対策費・国保・後期高齢者医療関係費・介護給付費負担金・私学関係助成 | ７，３３７３，３９０　２，２８１１，１７３８７４ | 億円億円億円億円億円 | ・障がい者自立支援給付費等負担金・施設型給付費等負担金・地域医療介護総合確保基金事業費・新型コロナウイルス感染症宿泊施設確保等事業費・新型コロナウイルス感染症対応資金融資利子補給金 | ７１９５０８２８２２７３２２１ | 億円億円億円億円億円 |
|
|
| ≪増減の大きいもの≫　　R４当初→R５当初 |  |
| （補助金等） | （貸付金）・大阪はびきの医療センター整備事業費・中小企業向け制度融資預託金（その他）・新型コロナウイルス感染症対策費・国際会議場管理運営費・大阪コロナ大規模医療・療養センター運営事業費・新型コロナウイルス感染症宿泊施設確保等事業費 |  |
| ・障がい者自立支援給付費等負担金・後期高齢者医療給付費負担金・地域医療介護総合確保基金事業費・２０２５日本国際博覧会推進事業費・看護師等処遇改善事業費・介護職員等処遇改善支援補助金・大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費（積立金）・地域医療介護総合確保基金積立金 | ＋７７＋５８＋５６＋４５▲４４▲１３０▲１，４７５＋２１ | 億円億円億円億円億円億円億円億円 | ▲１３４▲１９２＋２１３＋３０▲１８▲１０２ | 億円億円億円億円億円億円 |
|

**■令和５年度当初予算における社会保障関係経費の状況**

**＜社会保障関係経費の内訳＞**

* 社会保障関係経費（一般財源ベース）は、前年度当初比で105.5％、336億円の増。

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目等 | R4当初 | R5当初 | 増　減 |
| 総　額 |  | 総　額 |  | 総　額 |  |
| 一般財源 | 一般財源 | 一般財源 |
| 福祉費 | 社会福祉費　社会福祉施設等退職手当共済費補助金など | 57(23) | 41(23) | 59(27) | 45(27) | 3(4) | 4(4) |
| 障がい者福祉費　障がい者自立支援給付費等負担金や自立支援医療費（更生医療）給付費など | 916(721) | 850(718) | 940(796) | 923(793) | 23 (75) | 73(75) |
| 高齢者福祉費　介護給付費負担金や低所得者保険料軽減負担金など | 1,535(1,261) | 1,300(1,261) | 1,565(1,277) | 1,332(1,277) | 30(15) | 32(15) |
| 児童福祉費　保育所等にかかる施設型給付費等負担金や児童福祉施設事業費など | 1,212(969) | 1,008(892) | 1,234(1,038) | 1,069(956) | 22(69) | 61(64) |
| 生活保護費　生活保護給付費など | 51(48) | 27(27) | 45(43) | 25(24) | ▲7(▲6) | ▲2(▲2) |
| 健康医療費 | 公衆衛生費等新型コロナウイルス感染症対策事業費や措置入院及び通院医療費、難病対策費など | 4,211(319) | 528(157) | 4,219(326) | 603(163) | 9(7) | 75(7) |
| 医薬費　後期高齢者医療給付費負担金や国民健康保険基盤安定事業費負担金など | 2,369(2,197) | 2,221(2,178) | 2,433(2,297) | 2,317(2,280) | 64(100) | 95(102) |
| 教育費 | 文教諸費等　私立幼稚園等にかかる施設型給付費等負担金や私立専門学校授業料等減免事業費など | 184(184) | 157(157) | 181(181) | 155(155) | ▲3(▲3) | ▲2(▲2) |
| 合　 計 | 10,534(5,721) | **6,132**(5,413) | 10,676(5,985) | **6,468**(5,676) | 142(263) | **336**(263) |

＊　（　）内は、法令等によって支出が義務付けられている経費の額。

＊上表の数値は職員人件費を含まない。

＊上表の令和4年度当初予算の数値は、令和4年度から子ども家庭局が設置されたことに伴い、令和5年度当初予算の計上科目の

変更があるため、令和5年度当初予算の科目に対応した数値としている。

＊公衆衛生費等は、環境衛生費、保健所費を含む。

＊文教諸費等は、文教諸費及び大学費のうち、消費税率引上げによる幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化にかかる経費

（国制度分）の額。

**＜地方消費税増収分と社会保障関係経費＞**

・地方消費税率引上げによる増収額（1,239億円）は、全額を社会保障関係経費（6,468億円）の財源

として活用。

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | R4当初 | R5当初 | 増減 |
| 【歳入】　地方消費税のうち社会保障財源相当額（市町村への交付金を除く） | 1,122 | **1,239** | 116 |
| 【歳出】　社会保障関係経費（一般財源ベース） | 6,132 | **6,468** | 336 |

|  |
| --- |
| ○減債基金への積立て：１５９億円（前年度当初比 ９２．６％、▲１３億円）＊財政再建団体転落回避のため、平成１３～１９年度の間に、減債基金から合計５，２０２億円の借入れを実施したため、減債基金残高が積立てておくべき額に比して不足。＊平成２１年度より、減債基金残高の復元を計画的に実施し、令和５年度末に完了する見込み。 |

（参考１）減債基金復元額の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２１決算 | H２２決算 | H２３決算 | H２４決算 | H２５決算 | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 |
| 減債基金復元額(うち当初予算)　(決算剰余金1/2相当額)(その他) | 52(52) | 383(228)(155) | 514(385)(129) | 313(260)(53) | 766(320)(61)(385) | 392(280)(112) | 299(280)(19) | 303(276)(27) |
| 復元額累計積立不足額 | 525,150 | 4354,767 | 9494,253 | 1,2623,940 | 2,0283,174 | 2,4202,782 | 2,7192,483 | 3,0222,180 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３決算 | R４最終 | R５当初 |
| 284(273)(11) | 285(271)(14) | 294(269)(25) | 408(264)(144) | 393(228)(165) | 356(172)(134)(51) | 159(159) |
| 3,3061,896 | 3,5911,611 | 3,8851,317 | 4,293909 | 4,686516 | 5,043159 | 5,2020 |

（参考２）実質公債費比率算定上の積立必要額との差引の推移　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２１決算 | H２２決算 | H２３決算 | H２４決算 | H２５決算 | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 |
|
| 積立必要額上記に対応する基金残高 | 6,3521,418 | 6,8471,665 | 7,6771,865 | 8,7242,817 | 8,5773,535 | 8,6114,125 | 8,2613,861 | 8,0013,699 |
| 差引 | ▲4,934 | ▲5,182 | ▲5,812 | ▲5,907 | ▲5,042 | ▲4,486 | ▲4,400 | ▲4,302 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３決算 | R４最終 | R５当初 |
| 8,2374,235 | 8,4524,899 | 8,7605,757 | 8,5956,559 | 9,4167,911 | 10,0378,847 | 10,5549,358 |
| ▲4,001 | ▲3,553 | ▲3,003 | ▲2,036 | ▲1,505 | ▲1,189 | ▲1,197 |

**２　歳　入**

|  |  |
| --- | --- |
| ○府税収入・令和５年度見込み | １兆４，５６９億円　（前年度当初比　１０５．８％　　＋７９８億円） |
| ・実質税収 | １兆２，６９２億円　（前年度当初比　１０３．９％　　＋４７９億円） |
| ＊景気の持ち直しの動きを背景とした企業業績の改善、円安や資源高による輸入金額の増加等により、法人二税や地方消費税を中心に令和４年度当初予算と比べ増収。 |
| 法人二税 | ４，８６９億円 | （前年度当初比 | １０５．８％ | ＋２６７億円） |
| 地方消費税 | ４，５４６億円 | （前年度当初比 | １１０．３％ | ＋４２５億円） |
| 個人府民税 | ３，１２１億円 | （前年度当初比 | １０３．０％ | ＋９１億円） |
| ＊うち森林環境税は、１３億円（前年度当初比１０１．４％） |
| 宿泊税 | １２億円 | （前年度当初比 | １６４．８％ | ＋５億円） |

・府税収入の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２決算 | H１９決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 府税収入実質税収法人二税 | 14,73113,5107,982 | 13,42511,5915,667 | 13,28911,6674,285 | 12,77811,8904,419 | 13,03912,3594,702 | 12,81311,3474,103 | 13,96012,2854,565 | 13,77112,2134,601 | 14,49512,9584,937 | 14,56912,6924,869 |

＊平成29年度以前の府税収入は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

＊実質税収は、（府税＋譲与税＋精算金収入）－（税関連の市町村交付金、精算金支出、還付金等）。

＊法人二税のピークは、平成元年度（８，３５２億円）。

|  |
| --- |
| ○地方譲与税：１，４７７億円（前年度当初比　９５．０％、▲７８億円）・うち特別法人事業譲与税：１，４３７億円 （前年度当初比 ９４．９％、▲７７億円）　 |

|  |
| --- |
| ＜参考２＞特別法人事業譲与税　地方法人課税の偏在是正措置のため、令和元年10月１日以後に開始する事業年度から、法人事業税（地方税）の一部を特別法人事業税（国税）とし、その全額を人口を基準として都道府県に譲与（不交付団体に譲与制限あり）。（制度改正の影響は、令和２年度で通年化） |

|  |
| --- |
| ○地方交付税：３，１４７億円 （前年度当初比 １０６．１％、＋１８１億円）・臨時財政対策債を加算した額：３，８３７億円（前年度当初比 １１６．５％、＋５４４億円） |

・地方交付税の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 地方交付税[臨時財政対策債] | 2,826[1,835] (4,660) | 2,764[1,519] (4,283) | 2,448[1,515] (3,962) | 2,360[1,532] (3,892) | 2,478[1,389] (3,867) | 2,594[1,386] (3,980) | 3,804[2,800] (6,604) | 2,966[327] (3,293) | 3,118[409] (3,527) | 3,147[690] (3,837) |

＊（　）内は、臨時財政対策債を加算した数値。

＊令和４年度予算は、交付税の追加措置分を活用し、臨時財政対策債を調整。（発行可能額1,082億円⇒予算額409億円）

|  |  |
| --- | --- |
| ○府　債： | １，７４３億円（前年度当初比 １１９．４％、＋２８３億円）通常債（※）や税・地方交付税の代替として発行する減収補塡債は減少するものの、臨時財政対策債の増加により、府債は２８３億円の増。　（※）地方財政法第５条に基づき公共施設又は公用施設の建設事業費等の財源に充当する地方債。 |
| ・通常債・減収補塡債・臨時財政対策債＊発行可能額（見込）ベース・行政改革推進債 | ９５８億円　　　―６９０億円９５億円 | （前年度当初比 　　９８．９％（前年度当初比 　　　―（前年度当初比 　２１１．１％（前年度当初比　　 ６９．０％（前年度当初比 　１１１．３％ | ▲１０億円）▲７９億円）＋３６３億円）▲310億円）＋１０億円） |

⇒　臨時財政対策債等を除いた府債残高は、平成１９年度以降減少。全会計の府債残高は前年度に比べて減少。

・府債発行額の推移　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３決算 | R４ | R５当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般会計府債発行額 | 2,757 | 2,939 | 2,404 | 2,413 | 2,314 | 3,087 | 3,682 | 1,460 | 1,409 | 1,743 |
| 一般会計府債残高 | 53,797 | 53,691 | 53,661 | 53,626 | 53,575 | 54,042 | 55,546 | 54,368 | 54,290 | 53,558 |
| 全会計残高うち臨財債等残高うちその他残高 | 62,861[31,323][31,538] | 62,327[31,925][30,403] | 61,731[32,661][29,069] | 61,402[33,089][28,313] | 61,065[33,244][27,822] | 61,374[33,898][27,476] | 62,741[35,550][27,190] | 61,398[34,602][26,795] | 61,320[34,590][26,729] | 59,929[33,618][26,311] |

＊臨財債等とは、臨時財政対策債、減税補塡債、減収補塡債及び臨時税収補塡債。

|  |  |
| --- | --- |
| ○その他歳入： | ９，６９０億円（前年度当初比 ９０．８％、▲９８３億円）中小企業向け制度融資預託金の減による貸付金元利収入の減少や財政調整基金繰入金の減少などにより、その他歳入は９８３億円の減。 |
| ・貸付金元利収入・財政調整基金繰入金（交付税精算等対応分） | ７，３９７億円４６６億円 | （前年度当初比 ９７．６％（前年度当初比 ４６．８％ | ▲１８４億円）▲５３０億円） |

|  |
| --- |
| ＜参考３＞地方交付税算定における精算制度への対応　普通交付税のうち、国の地方財政計画における国税・地方税見込みと府税等の実績との乖離により生じた増収分については、翌年度以降の普通交付税算定において是正（精算）されることから、当年度の歳入のうち必要な額を財政調整基金に積み立て、年度間の財政調整を行う。 |
|  |
| ○財政調整基金の取崩し | ：５５２億円　（前年度当初比 ６９．６％、▲２４１億円） |
| 社会保障関係経費の増加があるものの、実質税収の増加や人件費の減少により、財政調整基金の取崩しは、２４１億円の減。 |
|  |

・財政調整基金残高の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | H２１ | H２２ | H２３ | H２４ | H２５ | H２６ | H２７ | H２８ | H２９ | H３０ |
| 残　高 | 6(434) | 78(1,256) | 784(1,385) | 711(1,438) | 1,037(1,500) | 1,039(1,612) | 843(1,602) | 544(1,479) | 584（1,475） | 1,117（1,489） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R１ | R２ | R３ | R４ | R５ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 1,148(1,562) | 1,043(1,706) | 507(2,037) | 1,244(2,171) | 1,619 |  |  |  |  |  |  |  |  |

＊上段は当初見込み、下段は令和３年度までは決算額、令和４年度は１１号補正後見込み。

＊上記残高には、地方交付税算定における精算制度への対応のための一時的な積立分を含まない。

　（参考）財政調整基金の積立て・取崩しについて

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 取崩額 | 積立額 | 残　高 |
| ◆ | 令和４年度当初予算編成 | 794 |  | 1,244 |
| ◆ | 令和３年度１２号補正 | 24 |  | 1,220 |
| ◇ | 令和３年度決算取崩し（最終24億円⇒決算取崩しなし） | ▲24 |  | 1,244 |
| ◇ | 令和３年度決算剰余金の1/2編入 |  | 134 | 1,378 |
| ◆ | 令和４年度１号～１０号補正 | 342 |  | 1,035 |
| ◆ | 令和４年度１１号補正（取崩額　現計1,136億円⇒最終　皆減） | ▲1,136 |  | 2,171 |
| □ | 令和５年度当初予算編成 | 552 |  | 1,619 |